

1 議 事 日 程

〔令和2年太宰府市議会 決算特別委員会〕

令和2年9月15日

午前10時00分

於 全員協議会室

- 日程第1 認定第1号 令和元年度太宰府市一般会計歳入歳出決算認定について
- 日程第2 認定第2号 令和元年度太宰府市国民健康保険事業特別会計歳入歳出決算認定について
- 日程第3 認定第3号 令和元年度太宰府市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定について
- 日程第4 認定第4号 令和元年度太宰府市介護保険事業特別会計歳入歳出決算認定について
- 日程第5 認定第5号 令和元年度太宰府市住宅新築資金等貸付事業特別会計歳入歳出決算認定について
- 日程第6 認定第6号 令和元年度太宰府市水道事業会計剰余金の処分及び決算認定について
- 日程第7 認定第7号 令和元年度太宰府市下水道事業会計剰余金の処分及び決算認定について

2 出席委員は次のとおりである（18名）

委員長	門 田 直 樹 議員	副委員長	神 武 綾 議員
委員	柳 原 莊一郎 議員	委員	宮 原 伸 一 議員
〃	船 越 隆 之 議員	〃	徳 永 洋 介 議員
〃	笠 利 毅 議員	〃	堺 剛 議員
〃	入 江 寿 議員	〃	木 村 彰 人 議員
〃	小 畠 真由美 議員	〃	上 疆 議員
〃	原 田 久美子 議員	〃	長谷川 公 成 議員
〃	藤 井 雅 之 議員	〃	橋 本 健 議員
〃	村 山 弘 行 議員	〃	陶 山 良 尚 議員

3 欠席委員は次のとおりである

な し

4 太宰府市議会委員会条例第18条により説明のため出席した者の職氏名（14名）

市 長	楠 田 大 蔵	副 市 長	清 水 圭 輔
教 育 長	樋 田 京 子	市民生活部長	濱 本 泰 裕
公営企業担当部長 兼上下水道課長 健康福祉部理事 兼高齢者支援課長 兼包括支援センター所長 兼人権政策課長兼 人権センター所長	百 田 繁 俊	健康福祉部長	友 田 浩
	田 中 縁	納 税 課 長	大 谷 賢 治
	行 武 佐 江	国保年金課長	高 原 寿 子
介護保険課長	立 石 泰 隆	元気づくり課長	安 西 美 香
上下水道施設課長	小 柳 憲 次	学校教育課長	鳥 飼 太

5 職務のため委員会に出席した事務局職員の職氏名（４名）

議会事務局長 阿 部 宏 亮
書 記 斉 藤 正 弘

議 事 課 長 花 田 善 祐
書 記 平 田 良 富

再開 午前10時00分

~~~~~ ○ ~~~~~

○委員長（門田直樹委員） 皆さん、おはようございます。

ただいまから休会中の決算特別委員会を再開します。

本日は、特別会計及び公営企業会計について審査を行います。

それでは、早速審査に入ります。

学校教育課長。

○学校教育課長（鳥飼 太） おはようございます。

昨日の会議の中で笠利委員さんからご質問があった点について、この場でご回答させていただきたいと思います。

決算審査及び基金の運用状況審査意見書の49ページの中ほどのご質問だったと思います。固定資産の本鑑定業務の実施、小・中学校 I C T の推進、各種システム改修等により 3 億 5,779 万 6,000 円増額があったことによるものであるという説明の中の、小・中学校 I C T の推進費がどれくらい占めるものか、それから平成31年度の当初予算の予算審査資料の中の I C T 関連の予算額 2,053 万 7,000 円の額が決算としてどのような予算になったのかというようなご質問だったと思います。

そのご質問を受けまして、現在調査をしております、予算の中身が当初予算から予算科目を組み替えたこと等によりまして、現在精査をさせていただいているところでございます。ですので、現在正確な数字がつかめておりません。よって、後日改めて笠利委員さんに内容の説明をさせていただきたいと思っておりますが、いかがでございましょうか。

○委員長（門田直樹委員） 笠利委員、よろしいですか。

○委員（笠利 毅委員） 一言よろしいですか。

それは精査していただければと思います。ただ、事務報告書に上がってきたものだったので、数字はもうつかめているものだろうという理解で質問させていただきました。そのことだけ言って、今後に生かしていただければと思います。

○学校教育課長（鳥飼 太） 大変申し訳ございません。よろしくお願いいたします。ありがとうございます。

~~~~~ ○ ~~~~~

日程第 2 認定第 2 号 令和元年度太宰府市国民健康保険事業特別会計歳入歳出決算認定について

○委員長（門田直樹委員） それでは、日程第 2、認定第 2 号「令和元年度太宰府市国民健康保険事業特別会計歳入歳出決算認定について」を議題といたします。

お諮りします。

特別会計については、事項別明細書の歳入から審査に入りたいと思いますが、これにご異議ありませんか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

○委員長(門田直樹委員) 異議なしと認めます。

直ちに審査に入ります。

284ページ、1款国民健康保険税から入ります。

まず、1款について質疑はございませんか。

藤井委員。

○委員(藤井雅之委員) 事務報告書の68ページと監査意見書の36ページで質問させていただきますので、よろしくお願いします。

まず、事務報告書の収納状況についてですが、一般被保険者と退職被保険者の合計の部分が、現年分で92.07%、滞納繰越処分が24.30%という数字が事務報告書では上がっておりますが、監査意見書の36ページを見ますと、現年課税分の収入率が92.24%、滞納繰越分が24.34%ということで誤差が出ているというか、数字が一致してないんですけれども、この違いがどこから出てきているのか教えてください。

○委員長(門田直樹委員) 納税課長。

○納税課長(大谷賢治) ただいまのご質問にお答えをさせていただきます。

事務報告書のほうに記載のあります収納率と監査意見書のほうに記載のあります収入率に若干の差があるということでございますが、事務報告書の収入率につきましては、収納額から還付未済額を差し引いた額を基に収納率を算出しております。一方、監査報告書につきましては、収入率につきましては、還付未済額を差し引く前の収入済額で算出した率となっております。

以上でございます。

○委員長(門田直樹委員) 藤井委員。

○委員(藤井雅之委員) 違いは分かりました。ただ、議会としては、監査意見書も事務報告書も一つの議案としていただいた上で、審査といいますか、最後は賛否まで判断しないといけないんですけれども、この数字が誤差的な範囲、そういうような事情でばらけているというのはちょっとどうなのかなというふうに思うんですけれども、この監査意見書の部分は、もうこれは監査サイドが作成されるという形で判断してよろしいですかね。まずそこまでの確認をお願いします。

○委員長(門田直樹委員) 国保年金課長。

○国保年金課長(高原寿子) 委員おっしゃるとおりでございます。

○委員長(門田直樹委員) 藤井委員。

○委員(藤井雅之委員) 内部の問題でしょうけれども、可能かどうか、これはできれば統一をしていただきたいなというふうに私は思うんですけれども、その点について今後協議していただくことは可能でしょうか。

○委員長(門田直樹委員) 市民生活部長。

○市民生活部長(濱本泰裕) 今ご指摘がございました還付未済額、この取扱いにつきましては、

場面場面で異なる取扱いが必要なこともございます。そういったこともございますけれども、今そのようなご指摘でございますので、その件につきましては今後監査事務局とも整理をさせていただきたいというふうに思います。

○委員長（門田直樹委員） よろしいですか。

ほかにございませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（門田直樹委員） それでは、2款県支出金、3款財産収入について質疑はございませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（門田直樹委員） それでは、4款繰入金、289ページまでですが、4款について質疑はございませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（門田直樹委員） それでは、5款繰越金及び6款諸収入、そして291ページまで、7款市債まで含めまして質疑はございませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（門田直樹委員） それでは、歳出に入ります。

292ページ、1款総務費が295ページまでですね。1款について質疑はございませんか。

よろしいですか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（門田直樹委員） 2款保険給付費、これは給付費で続きますが、299ページまでについて質疑はございませんか。

橋本委員。

○委員（橋本 健委員） 昨年の出産届を出しての一時金、受け取りになった方があると思うんですが、2,300万円計上されております。出産費用、お一人当たり額が幾らなのかというのと、対象になった人数を教えてください。

それともう一つ、下の葬祭費ですけども、これも同じく1件当たりの額と対象になった人数をお願いいたします。

○委員長（門田直樹委員） 国保年金課長。

○国保年金課長（高原寿子） 出産一時金のほうからご説明いたします。額は基本的に42万円ですね。産科医療補償制度とかのものはありますけれども、42万円で、人数といたしましては55名です。

葬祭費のほうにつきましては、1件が3万円になります。件数といたしましては73件となっております。

以上です。

○委員長（門田直樹委員） 橋本委員。

○委員（橋本 健委員） ありがとうございます。これ、葬祭費ですけれども3万円、これは死亡
届を出さないと、そして申請の手続をしないと交付していただけないということでしょうか。

○委員長（門田直樹委員） 国保年金課長。

○国保年金課長（高原寿子） 申請いただいて交付いたしております。

○委員長（門田直樹委員） 橋本委員。

○委員（橋本 健委員） 期限はありますか。2週間なら2週間以内に。

○委員長（門田直樹委員） 国保年金課長。

○国保年金課長（高原寿子） 期限は、すみません、ちょっと確かでございせんが、2年だった
と思います。

○委員（橋本 健委員） 2年。

○国保年金課長（高原寿子） すみません。訂正がありましたら、後ほど訂正させていただきたい
と思いますが。2週間ではございせん。

○委員長（門田直樹委員） よろしいですか。

○委員（橋本 健委員） はい。

○委員長（門田直樹委員） ほかにございせんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（門田直樹委員） それでは、ページがちょうど300ページ、3款国民健康保険事業費納
付金、3款は301ページまでですね、質疑はございせんか。

藤井委員。

○委員（藤井雅之委員） 2項の後期高齢者支援金等分について関連してお伺いします。

審査資料9ページのほうに出していただきましたけれども、国保から後期高齢者制度に移っ
た方の人数、過去5年分出していただいたんですけれども、国保課としては今後このピークが
いつ頃になるのか現在つかんでおられるのか。それと、大体そのときの人数はおおよそ何人ぐ
らいでというのを想定されているようでしたら、お示ください。

○委員長（門田直樹委員） 国保年金課長。

○国保年金課長（高原寿子） お答えいたします。

ちょっとピークということではございせんが、昨年度県のほうが示しました資料に基づき
まして試算しますと、令和6年度では1万1,000人から1万2,000人程度になるのではないかと
いうふうな推計をいたしております。

以上です。

○委員長（門田直樹委員） 藤井委員。

○委員（藤井雅之委員） それは県全体ですか、太宰府だけの数字ですか。

○委員長（門田直樹委員） 国保年金課長。

○国保年金課長（高原寿子） 太宰府市だけの数字でございします。

○委員長（門田直樹委員） 藤井委員。

○委員（藤井雅之委員） いいですか、質問。大丈夫ですかね。何かあります。

○国保年金課長（高原寿子） すみません。国保の全世帯の人数が1万1,000人から1万2,000人になるということでございます。

○委員長（門田直樹委員） 藤井委員。

○委員（藤井雅之委員） じゃあ、国保の構成の部分ということでお伺いしますけれども、結局後期高齢のところとそれだけ国保から移っていかれるという部分があって、ですけれども、国民健康保険税の中に後期高齢者の支援金が含まれておりますけれども、今後その支援金部分の税率改定というのはどういうふうになっていくのか。当然後期のほうに移行される方が増えれば、当然広域連合等から負担金の部分も増額した形の負担金等が言ってくるということで、必然的に後期高齢者支援金の部分の税率が上がっていくんじゃないかなというふうに懸念を持っているんですけれども、その辺の受け止めはいかがでしょうか。

○委員長（門田直樹委員） 国保年金課長。

○国保年金課長（高原寿子） 委員おっしゃられるとおり、後期高齢者支援の分は、今後各保険、国保のみならず増えていく傾向にあるというふうに考えております。

以上です。

○委員長（門田直樹委員） よろしいですか。

ほかにございませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（門田直樹委員） それでは、302ページ、4款共同事業拠出金、5款財政安定化基金拠出金について質疑はありませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（門田直樹委員） それでは、同ページ、6款保健事業費、ずっと行きまして305ページまでですね、質疑はございませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（門田直樹委員） それでは、306ページ、7款基金積立金、8款公債費について質疑はありませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（門田直樹委員） それでは、同ページの9款諸支出金、308ページ及び10款の予備費まで質疑はございませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（門田直樹委員） それでは、以上で歳入歳出の質疑は終わりました。

次に、310ページ、実質収支に関する調書について質疑はありませんか。

木村委員。

○委員（木村彰人委員） 監査委員審査資料の35ページと37ページを併せて見たいんですけれども、私が聞きたいことは、国民健康保険のこれからの収支見込みを今分かる範囲でお聞きした

いんですが、団塊世代の後期高齢者制度への移行による国保被保険者数の減少による歳入歳出に及ぼす影響なんですけれども、令和元年の歳入歳出の状況を見る限り、保険税の減収よりも保険給付費の減少のほうが大きいように思います。それで、国保収支としては、今回も実質収支黒字と、単年度収支も黒字。これ3年間見る限りはずっと黒字なんですけれども、国民健康保険に限っては比較的安定しているような気がします。そのしわ寄せが後期高齢者のほうに行っているような認識でよろしいのでしょうか。

○委員長（門田直樹委員） 国保年金課長。

○国保年金課長（高原寿子） 確かに令和元年度、2か年続けて黒字になっておりますが、依然国保のほうは厳しい状況が続いていくというふうに考えております。

以上です。

○委員長（門田直樹委員） よろしいですか。

ほかにございませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（門田直樹委員） それでは、再度、歳入歳出全般について総括的な質疑はございませんか。

藤井委員。

○委員（藤井雅之委員） 総括的な形でお伺いいたしますけれども、提案されています決算認定の国保の部分は、保険税の改定が行われた、要は引上げが行われた年度の決算認定でありますけれども、その引上げの影響についての認識をお聞かせください。

○委員長（門田直樹委員） 国保年金課長。

○国保年金課長（高原寿子） 収納率を見ますとほぼ横ばいで、減免世帯数とかも横ばいになっている状況から、税を引き上げた影響範囲は少ないというふうには考えておりますが、今後も納税者の皆様に寄り添って、きめ細やかな対応は行っていきたいと考えております。

以上です。

○委員長（門田直樹委員） よろしいですか。

ほかにございませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（門田直樹委員） 以上で質疑を終わります。

意見交換を行いたいと考えますが、ご意見はございますでしょうか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（門田直樹委員） これから討論を行います。

討論はありませんか。

神武副委員長。

○副委員長（神武 綾委員） 国民健康保険税事業特別会計の認定につきまして反対の立場で討論いたします。

令和元年度の予算について、国民健康保険税の引上げをされた予算でありました。予算編成について反対をしておりました点から、この執行についての決算認定については反対いたします。

太宰府市内の1人当たりの医療費の資料を見ていたんですけれども、県内でも医療費自体は抑えられているというところで低いほうに位置しているというところで、検診の推進とか、それから予防なども進められている結果も出ているのではないかと思いますけれども、国民健康保険税の負担が大きいということは、もう常々言われておりますので、筑紫地区内でも低く抑えられるような検討、精査をしていただきたいということを要望いたしまして、反対討論いたします。

○委員長（門田直樹委員） 賛成討論はございませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（門田直樹委員） 討論はございませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（門田直樹委員） これで討論を終わります。

採決を行います。

認定第2号「令和元年度太宰府市国民健康保険事業特別会計歳入歳出決算認定について」、認定することに賛成の方は挙手願います。

（多数挙手）

○委員長（門田直樹委員） 多数挙手であります。

よって、認定第2号については認定すべきものと決定しました。

〈認定 賛成15名、反対2名 午前10時18分〉

○委員長（門田直樹委員） 以上、本会議において報告します。

~~~~~ ○ ~~~~~

日程第3 認定第3号 令和元年度太宰府市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定について

○委員長（門田直樹委員） 日程第3、認定第3号「令和元年度太宰府市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定について」を議題といたします。

316ページ、1款保険料から入ります。

1款について質疑はございませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（門田直樹委員） 同ページ、2款使用料及び手数料、3款繰入金、4款諸収入、またページめくっていただいて、5款の繰越金まで質疑はございませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（門田直樹委員） それでは、歳出に入ります。

320ページ、まず1款総務費、次の323ページまでですが、1款について質疑はございません

か。

(「なし」と呼ぶ者あり)

○委員長(門田直樹委員) それでは、322ページの2款諸支出金、3款予備費について質疑はありませんか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

○委員長(門田直樹委員) 以上で歳入歳出の質疑は終わりました。

次に、324ページ、実質収支に関する調書について質疑はありませんか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

○委員長(門田直樹委員) それでは、再度、歳入歳出全般について総括的な質疑はありませんか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

○委員長(門田直樹委員) 以上で質疑を終わります。

意見交換についてご意見はございませんか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

○委員長(門田直樹委員) これから討論を行います。

討論はありませんか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

○委員長(門田直樹委員) これで討論を終わります。

採決を行います。

認定第3号「令和元年度太宰府市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定について」、認定することに賛成の方は挙手願います。

(全員挙手)

○委員長(門田直樹委員) 全員挙手であります。

よって、認定第3号については認定すべきものと決定しました。

〈認定 賛成17名、反対0名 午前10時20分〉

○委員長(門田直樹委員) 以上、本会議において報告します。

~~~~~ ○ ~~~~~

日程第4 認定第4号 令和元年度太宰府市介護保険事業特別会計歳入歳出決算認定について

○委員長(門田直樹委員) 日程第4、認定第4号「令和元年度太宰府市介護保険事業特別会計歳入歳出決算認定について」を議題といたします。

最初に、保険事業勘定から審査を行います。

332ページ、1款保険料、2款使用料及び手数料について質疑はございませんか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

○委員長(門田直樹委員) 同ページ、3款国庫支出金、335ページまでですが、3款についての質疑はございませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（門田直樹委員） それでは、同ページ、4款支払基金交付金、5款県支出金について質疑はございませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（門田直樹委員） それでは、336ページからですが、6款財産収入、7款繰入金、339ページまでですが、質疑はございませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（門田直樹委員） 338ページ、8款繰越金、9款諸収入、諸収入が最後は341ページまでですが、質疑はございませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（門田直樹委員） それでは、歳出に入ります。

342ページ、1款総務費、347ページまでですね。質疑はございませんか。

神武副委員長。

○副委員長（神武 綾委員） 343ページ、1目一般管理費の002庶務関係費の委託料のところなんですけれども、介護保険事業計画等策定委託料、それからその2つ下の高齢者実態調査委託料というのがあるんですけれども、第8期の介護計画のほうに入っていくものかなというふうに思っているんですけれども、進捗状況についてお願いいたします。

○委員長（門田直樹委員） 介護保険課長。

○介護保険課長（立石泰隆） 質問についてお答えいたします。

委員のおっしゃるとおり、第8期の介護事業計画書の策定に基づく予算でございまして、令和元年度に必要な調査を行っております。現在、その調査に基づいたサービスの内容等について検討を行っているところの状況でございます。

以上です。

○委員長（門田直樹委員） 神武副委員長。

○副委員長（神武 綾委員） 高齢者実態調査のほうもそれに影響しているということよろしいですか。

○委員長（門田直樹委員） 介護保険課長。

○介護保険課長（立石泰隆） 委員のおっしゃるとおりで、高齢者実態調査につきましては、介護認定を受けられている方について、介護のサービスの要望であったりとか、介護をされている家族の方への介護離職についての調査のほうをさせていただいております。

以上です。

○委員長（門田直樹委員） よろしいですか。

ほかにございませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（門田直樹委員） それでは、348ページ、2款保険給付費、355ページまでですね。2款

について質疑はございませんか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

○委員長(門田直樹委員) それでは、354ページ、3款地域支援事業費、365ページまでですね。

3款について質疑はございませんか。

神武副委員長。

○副委員長(神武 綾委員) 357ページ、001の訪問型サービス事業費の委託料の訪問型サービスA事業委託料で124万8,000円というのがあるんですけども、これ委託先がシルバー人材センター1か所だと思いますけれども、この訪問型サービスA事業というのが、以前これ導入されるときに、事業者をシルバー人材センターにお願いするということですと続いていると思うんですけども、受皿としては今後増やしていく方針があるのか、今のところそのシルバーさんで賄えているのかという現状をお聞きしたいんですけども。

○委員長(門田直樹委員) 高齢者支援課長。

○高齢者支援課長(田中 縁) 訪問型サービスAにつきましては、おっしゃるとおりシルバー人材センターのほうに委託をさせていただいております。件数的にそこまで急激に増えているということではございませんので、シルバー人材センターでこのまま継続していくところで、今そういう方針でおります。

働く側ですね、訪問をする側の需要としても、そういういわゆるシルバーの年代にぜひこの仕事に携わっていただきたいと思っていますので、シルバーに登録していただいて、ここは家事支援だけなので、比較的携わりやすい事業ですので、こちらを伸ばしていくほうがいいかなというふうには考えております。

以上です。

○委員長(門田直樹委員) 神武副委員長。

○副委員長(神武 綾委員) シルバー人材センターさん自体の登録者というか、これに従事される方もなかなか増えないというようなお話も聞いていましたので、需要が増えれば事業者を増やしていかないといけないかなというところもちょっと心配ありまして、民間にしていくと質的にどうなのかというようなお話もちょうとありますので、そこら辺、できればシルバー人材センターさん今ずっと関わっておられますので、その支える側も増やしていただきながら、市内の中で循環していくようなふうになればいいかなというふうに思います。要望です。

○委員長(門田直樹委員) よろしいですね。

ほかにごございませんか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

○委員長(門田直樹委員) それでは、364ページ、4款諸支出金、次のページまでですが、4款について質疑はございませんか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

○委員長(門田直樹委員) それでは、366ページの5款基金積立金、6款予備費について質疑は

ありませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（門田直樹委員） それでは、以上で歳入歳出の質疑は終わりました。

次に、368ページ、実質収支に関する調書について質疑はありませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（門田直樹委員） 以上で保険事業勘定についての質疑を終わります。

次に、介護サービス事業勘定に移ります。

374ページ、1 款サービス収入、また 2 款繰入金、3 款繰越金、4 款諸収入、全体につきまして質疑はありませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（門田直樹委員） それでは、歳出に入ります。

376ページ、1 款総務費について質疑はございませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（門田直樹委員） 同ページの 2 款諸支出金、3 款予備費について質疑はございませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（門田直樹委員） それでは、以上で歳入歳出の質疑は終わりました。

次に、378ページ、実質収支に関する調書について質疑はありませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（門田直樹委員） 以上で介護サービス事業勘定についての質疑を終わります。

それでは、再度、保険事業勘定、介護サービス事業勘定の歳入歳出全般について総括的な質疑はありませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（門田直樹委員） 以上で質疑を終わります。

意見交換についてご意見はございますか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（門田直樹委員） これから討論を行います。

討論はありませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（門田直樹委員） これで討論を終わります。

採決を行います。

認定第 4 号「令和元年度太宰府市介護保険事業特別会計歳入歳出決算認定について」、認定することに賛成の方は挙手願います。

（全員挙手）

○委員長（門田直樹委員） 全員挙手であります。

よって、認定第4号については認定すべきものと決定しました。

〈認定 賛成17名、反対0名 午前10時29分〉

○委員長（門田直樹委員） 以上、本会議において報告します。

~~~~~ ○ ~~~~~

日程第5 認定第5号 令和元年度太宰府市住宅新築資金等貸付事業特別会計歳入歳出決算認定について

○委員長（門田直樹委員） 日程第5、認定第5号「令和元年度太宰府市住宅新築資金等貸付事業特別会計歳入歳出決算認定について」を議題といたします。

384ページ、1款財産収入、2款繰入金、3款繰越金について質疑はございませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（門田直樹委員） それでは、同ページ、4款償還金、387ページまでですが、質疑はございませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（門田直樹委員） それでは、次に歳出に入ります。

388ページ、1款総務費、2款基金積立金について質疑はありますか。

神武副委員長。

○副委員長（神武 綾委員） 1款総務費の001庶務関係費の委託料で、弁護士等委託料24万円というのが上がっております。審査資料23ページなんですけれども、これは歳入のところで資料請求させていただいています。実際、今滞納されている方が何人いらっしゃるのか、また滞納額がどのくらいあるのかというところの一覧表を出していただいているんですけれども、以前資料請求したの平成27年だったと思いますが、その間に件数的には減ってきています。支払いが滞納になっている方の中で、本人がお亡くなりになっている方が9名いらっしゃったりとかというような状況で、なかなかこの回収が進むことが難しいのではないかなというふうに思いますけれども、この弁護士さんとのやり取りの中で、どのような方針、アドバイスがされているのかというところを少しお聞かせ願いたいと思います。

○委員長（門田直樹委員） 人権政策課長。

○人権政策課長（行武佐江） ご質問にお答えいたします。

弁護士さんがこの制度に係る県の弁護士さんとして長年委託を受けていらっしゃるところで、裁判にも精通してありますし、特に県の助成についても詳しい方ですので、こちらと、資料でお出ししていますとおり、ご本人が亡くなられた後に相続人の方が相続を放棄されたりとか、相続人の方も厳しい生活状況があらわれる場合などは、こちらの弁護士さんのほうにご相談いたしまして、あと県にも相談して、助成が受けられるようでしたらば、その手続をやっております。

以上です。

○委員長（門田直樹委員） 神武副委員長。

○副委員長（神武 綾委員） 385ページの4款償還金の収入未済額のところにその金額が上がってきているんですけれども、資料請求をさせていただいた平成27年から比べると減っているというところで、今後ずっと、亡くなった方は相続人というようなところなんですけれども、ずっと追いかけていくというようなところで、何か目標みたいなのところはあるんでしょうか。あと何年ぐらいでとかというような見通しがありますでしょうか。

○委員長（門田直樹委員） 人権政策課長。

○人権政策課長（行武佐江） 見ていただきますとおり、現在18名の方が少しお金が残っている状態なんですけれども、やはり高齢化によって収入が減り、それから多重債務や死亡とか破産とか、非常に厳しい状況で滞納に至っておりますので、償還に係る業務は長期化はやむを得ないと感じております。

ただ、個人の生活に応じてそれぞれ返済の計画、それから家庭訪問をしたりとか、庁舎の中でも横の連携を取りまして、その方々の生活の状況の変化とか相続について細かく把握しながら、償還不能の場合は弁護士さんにアドバイスいただこうと思いますけれども、できるだけ自分で払っていただけるように、これからも連絡を取り合ってやっていきたいと考えております。

○委員長（門田直樹委員） 神武副委員長。

○副委員長（神武 綾委員） なかなかその回収が難しいという事業だと思います。職員の方も小まめに足を運んだりとか信頼関係をつくったりとかというところで進めてありますので、今後もしよろしくお願ひしたいと思います。

以上です。

○委員長（門田直樹委員） よろしいですか。

ほかにございせんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（門田直樹委員） 以上で歳入歳出の質疑は終わりました。

次に、390ページ、実質収支に関する調書について質疑はありませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（門田直樹委員） それでは、再度、歳入歳出全般について総括的な質疑はありませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（門田直樹委員） 以上で質疑を終わります。

ご意見等はございますか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（門田直樹委員） これから討論を行います。

討論はありませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（門田直樹委員） これで討論を終わります。

採決を行います。

認定第5号「令和元年度太宰府市住宅新築資金等貸付事業特別会計歳入歳出決算認定について」、認定することに賛成の方は挙手願います。

（全員挙手）

○委員長（門田直樹委員） 全員挙手であります。

よって、認定第5号については認定すべきものと決定しました。

〈認定 賛成17名、反対0名 午前10時35分〉

○委員長（門田直樹委員） 以上、本会議において報告します。

~~~~~ ○ ~~~~~

日程第6 認定第6号 令和元年度太宰府市水道事業会計剰余金の処分及び決算認定について

○委員長（門田直樹委員） 日程第6、認定第6号「令和元年度太宰府市水道事業会計剰余金の処分及び決算認定について」を議題といたします。

1 ページ、令和元年度太宰府市水道事業報告書から入ります。

1 ページの1 概況についてから5 ページまでですが、質疑はありませんか。

木村委員。

○委員（木村彰人委員） 3 ページのところで職員数が事務職員1名、技術職員1名の都合2名が削減になっております。これ、この理由ですね。業務量が減ったのか、そこら辺のこの人員の削減の理由をお願いします。

○委員長（門田直樹委員） 上下水道課長。

○上下水道課長（百田繁俊） 職員数の増減につきましては、市全体の人事異動の中での職員の配置に伴うものでございまして、ちなみに令和2年度におきましては、その分はもう復旧いたしておるところでございます。

以上です。

○委員長（門田直樹委員） よろしいですか。

ほかにございませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（門田直樹委員） それでは、次に6 ページ、7 ページですね、2 工事について質疑はありませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（門田直樹委員） それでは、8 ページ、3 業務、10 ページまでですが、業務について質疑はございませんか。

木村委員。

○委員（木村彰人委員） 8 ページですね。それと併せて、監査委員審査資料の64 ページ、表の15を併せてちょっと見たいんですけれども、こちらのほうが有収水量1 m³当たりの供給単価と

給水原価の比較表のところですよ。令和元年度については、給水単価から給水原価を引きまして19.21円のプラスと、プラスを維持しているんですけども、この意見書の64ページをずっと見ますと、平成27年からだんだんだんだんこの差額が縮まってきていると。それで、平成30年、令和元年とちょっとその縮まり方がかなり厳しくなりつつある、減っているという感じがするんですけども、ここら辺の原因について伺います。

○委員長（門田直樹委員） 上下水道課長。

○上下水道課長（百田繁俊） それにつきましては、昨年度の決算特別委員会においても言及したかと思いますが、大山ダムからの受水ですね、減免措置がなくなりました関係で単価が上昇するといったようなことが、差が縮まった要因であろうかと分析しております。

○委員長（門田直樹委員） よろしいですか。

ほかにございませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（門田直樹委員） それでは、11ページ、4会計、12ページまでについて質疑はございませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（門田直樹委員） それでは、13ページ、その他について質疑はございませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（門田直樹委員） それでは、14ページ、令和元年度の水道事業決算報告書について、17ページまでですね。質疑はございませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（門田直樹委員） それでは、18ページ、令和元年度の水道事業損益計算書について、これもページが複数ですが、質疑はございませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（門田直樹委員） それでは、20ページ、水道事業剰余金の処分計算書案について質疑はございませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（門田直樹委員） それでは、21ページ、水道事業貸借対照表、これは23ページまでですが、質疑はございませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（門田直樹委員） それでは、24ページ、水道事業キャッシュ・フロー計算書について質疑はございませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（門田直樹委員） それでは、25ページから水道事業収益費用明細書がありますが、28ページまでですが、質疑はございませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（門田直樹委員） それでは、29ページ、水道事業資本的収支明細書、これは31ページまでですが、質疑はございませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（門田直樹委員） それでは、32ページ、水道事業固定資産明細書が34ページまでありますが、質疑はございませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（門田直樹委員） それでは最後、35ページ、36ページの注記について質疑はございませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（門田直樹委員） 以上で質疑を終わります。

意見交換のご意見はございますか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（門田直樹委員） これから討論を行います。

討論はありませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（門田直樹委員） これで討論を終わります。

採決を行います。

認定第6号「令和元年度太宰府市水道事業会計剰余金の処分及び決算認定について」、剰余金の処分について原案可決し、決算について認定することに賛成の方は挙手願います。

（全員挙手）

○委員長（門田直樹委員） 全員挙手であります。

よって、認定第6号については原案可決及び認定すべきものと決定しました。

〈原案可決及び認定 賛成17名、反対0名 午前10時41分〉

○委員長（門田直樹委員） 以上、本会議において報告します。

~~~~~ ○ ~~~~~

日程第7 認定第7号 令和元年度太宰府市下水道事業会計剰余金の処分及び決算認定について

○委員長（門田直樹委員） 日程第7、認定第7号「令和元年度太宰府市下水道事業会計剰余金の処分及び決算認定について」を議題といたします。

1ページ、令和元年度太宰府市下水道事業報告書から入ります。

1ページからの1概況について、4ページまでですが、質疑はありませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（門田直樹委員） 次に、5ページ、2工事について質疑はございませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（門田直樹委員） それでは、6ページからの3業務について質疑はございませんか。

木村委員。

○委員（木村彰人委員） 6ページ、併せて監査委員の審査意見書の84ページの表11と87ページの表15を併せて見たいんですけども、まず表15のほうなんですけれども、これも使用料単価と処理原価の差額ですね、これ比較的安定して大体50円から60円という形でしっかりプラスを確保していらっしゃるんですが、ここの金額については、かなりしっかり大きい金額だと思うんですけども、そこで単純にはこれ使用料を減額というふうにはいかないかもしれませんが、それと併せて、企業債の残高のところですね、こちらのほうが徐々に減ってきていると。これ非常にいい傾向なんですけれども、そこら辺の兼ね合いもあるかと思えますけれども、この使用料単価の見直しの可能性とこれからの方向性についてちょっとお伺いしたいんですが。

○委員長（門田直樹委員） 上下水道課長。

○上下水道課長（百田繁俊） お答えいたします。

確かに使用料単価と処理原価の差は安定しておりまして、安定的に利益を得ておると。そのおかげをもちまして、起債の残高も順調に償還をしているという流れにはなっております。

なお、ご指摘の使用料についてのことでございますけれども、来年度平成3年度が4年に一度の見直しの時期に当たるというようなこともございますので、現状及び将来的な計画等を考え合わせながら、今後検討してまいりたいというふうに考えております。

以上です。

○委員長（門田直樹委員） 市長。

○市長（楠田大蔵） なかなか機会がないので、失礼します。

先日も一般質問で上水道の件も含めていろいろご指摘をいただきました。先ほど担当も申しましたように、来年度が見直しの時期になっておりますので、最初から結論ありきではなくて、しっかりとそうした現状を見極めながら、今後の在り方について検討していきたいと思っております。

以上です。

○委員長（門田直樹委員） よろしいですか。

ほかにございませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（門田直樹委員） それでは、9ページ、4会計について質疑はございませんか。11ページまでですね。よろしいでしょうか。

木村委員。

○委員（木村彰人委員） 9ページの委託料のところなんですけれども、ちょっと遡りまして平成29年度に下水道ストックマネジメントの基本計画をスタートしたのでしょうかね。その後、平成30年度に2件の下水道ストックマネジメント調査業務、今回4件の同じ調査業務が出てきております。水道のストックマネジメントの説明はあらかじめ説明を伺ったと思うんですけども、いよいよ下水道のこのストックマネジメントの計画が始まったのかなというふうに見てお

ります。ここら辺のこれからの調査及び完了の見通しについてお伺いします。

○委員長（門田直樹委員） 上下水道課長。

○上下水道課長（百田繁俊） これからの計画ということになります、先ほど申し上げました来年度の予算編成が早速始まるわけでございますが、それに際しまして、取りあえず10年ぐらいのスパンを持ちまして、長期的な工事の計画、その他を盛り込んだところで、毎年ローリング的に次年度の予算を検討してまいると、そういったようなところで将来的な計画を練る上での参考にしていくために、十分活用していきたいと。

それで、下水道につきましては、基本、水道ほど管路の老朽が著しくないというようなこともございますので、できるだけ管路の延命化を図りつつ、長もちさせていくようなというところで費用の削減を図ってまいりたいというようなことを基本に考えておるところでございます。

○委員長（門田直樹委員） よろしいですか。

ほかにございませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（門田直樹委員） それでは、12ページ、下水道事業決算報告書、15ページまでについて質疑はございませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（門田直樹委員） それでは、16ページ、下水道事業損益計算書について質疑はございませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（門田直樹委員） それでは、次ページの17ページの下水道事業剰余金計算書について質疑はございませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（門田直樹委員） それでは、18ページ、下水道事業剰余金処分計算書案について質疑はございませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（門田直樹委員） 19ページの下水道事業貸借対照表、20ページまでですが、質疑はございませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（門田直樹委員） それでは、21ページ、下水道事業キャッシュ・フロー計算書について質疑はございませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（門田直樹委員） それでは、22ページからの下水道事業費用明細書について質疑はございませんか。24ページまでですね。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（門田直樹委員） それでは、25ページ、下水道事業資本的収支明細書について質疑はございませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（門田直樹委員） それでは、27ページの下水道事業固定資産明細書ですが、質疑はよろしいでしょうか。

木村委員。

○委員（木村彰人委員） 27ページの投資明細書の中の投資有価証券のところなんですけれども、年度当初現在高が1億236万円だったものが、年度途中で若干これ下がっている、年度末残高がちょこっと下がっているんですけれども、この有価証券の投資のリスクというのが私はよく分からないんですけれども、どのくらいのリスクがあるものなのでしょうか。

○委員長（門田直樹委員） 上下水道課長。

○上下水道課長（百田繁俊） 具体的にリスクを数値化するのはなかなか難問でございますけれども、あくまで金融情勢によって左右されるものではございますけれども、僅かながらではありますけれども、配当は得られるというような見込みの基に有価証券化しておるわけでございまして、今後はちょっとそのあたり、コロナウイルスの影響で経済が安定していないというところもございますので、ちょっと慎重に見極めたいとは思いますが、申し訳ございませんけれども、リスク化につきましてはなかなか明言はできないところでございます。

ちょっと補足させていただきますけれども、満期の期間がございますので、それまで保有しておれば原価は保証されるということでございますので、損失にはならないというようなことでございます。付け加えさせていただきました。

○委員長（門田直樹委員） よろしいですか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（門田直樹委員） 28ページから31ページまでの下水道事業企業債明細書についての質疑はよろしいでしょうか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（門田直樹委員） それでは、32ページまで、これ32ページ、33ページの注記に関して質疑はございませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（門田直樹委員） 以上で質疑を終わります。

意見交換のご意見はございますか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（門田直樹委員） これから討論を行います。

討論はありませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（門田直樹委員） これで討論を終わります。

採決を行います。

認定第7号「令和元年度太宰府市下水道事業会計剰余金の処分及び決算認定について」、剰余金の処分について原案可決し、決算について認定することに賛成の方は挙手願います。

(全員挙手)

○委員長(門田直樹委員) 全員挙手であります。

よって、認定第7号については原案可決及び認定すべきものと決定しました。

〈原案可決及び認定 賛成17名、反対0名 午前10時51分〉

○委員長(門田直樹委員) 以上、本会議において報告します。

以上で決算特別委員会に付託されました案件の審査は全て終了しました。

~~~~~ ○ ~~~~~

○委員長(門田直樹委員) ここでお諮りします。

本会議における決算特別委員会の審査報告は、当委員会が全議員で構成され、具体的な審査内容については後日会議録が作成されることから、要約報告とし、内容につきましては委員長にご一任願いたいと思いますが、これにご異議ありませんか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

○委員長(門田直樹委員) 異議なしと認め、委員長に一任することに決定しました。

~~~~~ ○ ~~~~~

○委員長(門田直樹委員) これをもちまして決算特別委員会を閉会いたします。

閉会 午前10時52分

~~~~~ ○ ~~~~~

上記会議次第は事務局長の記載したものであるが、その内容が正確であることを証するためここに署名します。

令和2年11月17日

太宰府市決算特別委員会委員長 門 田 直 樹